

平成28年度 加西中学校生徒（3年生）の学力・学習状況の報告

平成28年4月19日(火)に実施された「平成28年度全国学力・学習状況調査」の結果から、この調査を受けた本校3年生の状況について報告します。

本調査は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることなどを目的に実施されています。調査結果は本校においても、全国、兵庫県の傾向と同じく、「主として知識に関する問題」には比較的よい結果が得られましたが、知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力など「主として活用に関する問題」には課題が見られました。知識はあるが、その活用がうまくできていないのが現状であるといえます。

ただ、本調査は、実施教科が国語、数学の2教科であり、必ずしも学力・学習状況の全体を分析できるものではありません。今回の結果は、生徒が身に付けるべき学力・学習状況の一部であることに留意し、生徒一人一人や学校全体の状況を総合的に把握することに努めなければなりません。そして、それを学習改善や学習意欲の向上、また学校全体としての教育活動の充実に生かしていきたいと思えます。

保護者、地域の皆様におかれましては、なお一層、本校の教育活動にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

★本校生徒の生活環境や学習環境について

○良いところ（肯定的回答が90%以上の項目）

- ・朝食を毎日食べている。（96.9%）
- ・毎日、同じくらいの時刻に起きている。（91.9%）
- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。（91.8%）
- ・友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。（93.9%）
- ・家で学校の宿題をしている。（90.8%）
- ・学校で友達に会うのは楽しい。（94.9%）
- ・学校の規則を守っている。（99%）
- ・友達との約束を守っている。（97%）
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないと思う。（91.8%）
- ・人の役に立つ人間になりたいと思う。（97%）
- ・授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていた。（93.9%）
- ・国語の勉強は大切だと思う。（95.9%）
- ・国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う。（91.8%）
- ・数学の問題について、最後まで解答を書こうと努力した。（93.8%）

★本校生徒の生活状況や学習状況について

○課題が見られるところ（肯定的回答が50%未満の項目）

- ・家で、自分で計画を立てて勉強をしている。（45.9%）
- ・家で、学校の授業の予習をしている。（37.7%）
- ・家で、学校の授業の復習をしている。（36.7%）
- ・今、住んでいる地域の行事に参加している。（42.9%）
- ・新聞を読んでいる。（27.6%）
- ・授業などで、自分の考えを他の人に説明したり文章に書いたりすることは難しい。（68.3%）
- ・国語の授業で意見を発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している。（45.9%）
- ・数学の勉強が好きです。（49%）
- ・数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える。（26.5%）

○ 本校生の生活状況については、起床時間（91.9%）や就寝時間（76.5%）は安定しており、ほとんどの生徒が朝食を毎日食べている（96.9%）ことから、基本的な生活習慣はほぼ身に着いていると考えられます。そして、学校の規則を守り（99%）、友達との約束を守る（97%）と規範意識が高く、いじめを許さない（91.8%）、人の役に立ちたい（97%）と人権意識も高く、社会性も身に着いてきています。しかし、難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している生徒は約半数（51.0%）に留まっています。

学習状況については、宿題はしている（90.8%）が計画的な家庭学習（45.9%）ができておらず、予習（37.7%）、復習（36.7%）ができていない状況にあります。また、国語を大切（95.9%）と考える一方で、数学を大切だと考える生徒は（73.5%）に留まっています。国語では、話の組み立てを工夫する（45.9%）ことができておらず、数学では、学習したことが活用できないか考える（26.5%）ことができていません。これらのことから、知識や技能を活用する力を伸ばしきれないものと考えられます。

本校は、『主体的に学び続ける生徒の育成 ～誰もが「わかる、できる」を実感できる授業づくり～』を研究主題として、授業展開を工夫し、思考の可視化と言語活動の充実を図り、形成的評価の充実にも取り組んでいます。そして、学びやすい環境を整えることで主体的な学びを実現しようとしています。これらの取り組みで、基礎的・基本的な知識・技能の習得を進め、さらに、それらを活用して課題を解決するために必要な、思考力、判断力、表現力等の育成をめざしています。今後も、生徒の学びに向かう姿勢を育成するとともに、わかりやすい授業をめざして取り組みを進めていきます。

★本校生徒の教科に関する学力の状況

(◇全国平均を上回る内容・◆全国平均を下回る内容)

○国語A 「主として知識に関する問題」

- ◇漢字を書く。漢字を読む。
- ◇辞書を活用し、漢字が表している意味を正しく捉える。
- ◇集めた材料を整理して文章を構成する。
- ◇話の展開などに注意して聞き、自分の考えと比較する。
- ◆語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。
- ◆文の成分の照応について理解する。
- ◆お互いの発言を検討して自分の考えを広げる。
- ◆文字の形や大きさ、配列に注意して書く。

○国語B 「主として活用に関する問題」

- ◇文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分け、要旨を捉える。
- ◇文章の構成を捉える。
- ◇必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く。
- ◆文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く。
- ◆目的に応じて文章を要約する。
- ◆文章の展開に即して内容を理解する。

○数学A 「主として知識に関する問題」

- ◇垂線の作図の方法について理解している。
- ◇空間における直線と直線の位置関係を理解している。
- ◇具体的な事象における2つの数量の関係が反比例の関係になることを理解している。
- ◆比例の式についてxの値の増加に伴うyの増加量を求めることができる。
- ◆一次関数 $y = a x + b$ について、変化の割合が一定でaの値に等しいことを理解している。
- ◆一次関数のグラフからxの変域に対応するyの変域を求める事ができる。

○数学B 「主として活用に関する問題」

- ◇与えられた情報から必要な情報を選択し、数量の関係を数学的に表現することができる。
- ◇適切な事柄を判断し、それが成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明する事ができる。
- ◇問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。
- ◆グラフの傾きを事象に即して解釈する事ができる。
- ◆筋道を立てて考え、証明する事ができる。
- ◆与えられた式を用いて問題を解決する方法を数学的に説明することができる。